

学校教育目標	みんなと のびる ～人と関わり合い 未来に伸びる 児童の育成～	経営理念	ミッション：「郷田小の伝統の継承と創造」「確かな学力を身につけさせ、生涯にわたって協働し高まりあおうとする人間力の育成」 ビジョン：落ち着きのある温かい学校 学ぶ楽しさを実感し、みんなと伸びようとする子ども的確に職務を遂行するとともに、自らの専門性を発揮する教職員
--------	------------------------------------	------	---

評価計画							自己評価					学校関係者評価(委員:5名出席)							
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	担当	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価			コメント、改善点 等			
								11月	2月				A	B	C				
知	2	各教科の基礎・基本の確実な定着を図る。	国語科、算数科での基礎・基本の学力を確実に定着させる。	・指導方法の工夫改善により、学力の定着を図る。各種学力検査の分析を踏まえて改善計画を立て、個に応じたきめ細かな指導を行う。	・国、算 単元別テスト85点以上の児童を80%にする。 ・50点未満の児童を0%にする。	90%	教務部	国 85%以上 50%未満 算 85%以上 50%未満	知識理解 90%以上 50%未満 考え方 90%以上 50%未満	69.3% 0.8% 2人	算(10月) 90%以上 50%未満 235人 2人	2月 50%未満 210人 20人	△	4	国語科・算数科ともに、50点未満の児童を0%にすることはできなかったが、年度末の学力テストでは、ほぼ全学年が前年度の同学年よりも良い結果が出てる。しかし、依然として個人差は大きく、高学年になるとほど学習の積み残し課題が大きくなっている。一人一人に確かな学力をつけることができるよう学校としての取組を進める必要がある。	5	0	0	・学び合いの活動を通して、分からることを質問することや分かりやすく説明しようとする効果が数値(成果)として出ている。 ・個人差の大きい実態への対応については、地道に対応していくことが必要である。 ・学力の向上に向け引き続き学校全体で尽力してもらいたい。
				思考力・判断力を身につけさせ、豊かな表現力を育成する	・授業研究を中心とした校内研修による教師の授業力の向上を図る。(研究授業1回以上、公開研究会での授業公開)	90%	研究部	児童の授業満足度を85%以上にする。	92.7%	103%	4	「わかる・できる・のびる」授業づくりを研究し、児童の学び合いの場を適切に位置づけることを意識する職員が増えたので、児童の満足する授業を日々実践することができた為と考える。 児童の実態をしっかりと把握し今後も「わかる・できる・のびる」授業づくりをしていきたい。	5	0	0				
徳	1	自然や社会とのかかわりの中で、自他を大切にし、互いを認め合える豊かな心を育む。	児童の自己肯定感を高める。 学級経営を充実させる。 東広島スタンダードの徹底を図る。	縦割り班活動を充実させるとともに、無言掃除、無言集合、無言移動を徹底する。	・児童の肯定的評価。	90%	生徒指導部	95.3% (無言掃除)	97.7%	109%	4	生活目標の中に、3つの無言(掃除・移動・集合)を位置づけて、各学級の実態に応じた具体目標を設定して取り組んだことが高評価につながったと考える。	5	0	0	・学校は自律力を高めるための指導がしっかりとされている。挨拶などの課題があるため今後も取り組んでもらいたい。 ・無言掃除は、「評価」と「指導」の一体化により積み上げられた賜物である。 ・ノーチャイムと無言掃除は特徴的でいい成果を出しており評価したい。			
				生活目標のPDCA化を図るとともに、東広島スタンダードを徹底する。	・児童の肯定的評価。	90%	生徒指導部	91.6%	92.3%	103%	3	トイレのスリッパ揃えを徹底して粘り強く指導したこと、児童の成長を随時評価していくことが高評価につながったと考える。「返事」には、課題が見られるので来年度重点的に取り組みたい。	2	3	0				
体	4	最後まで粘り強く頑張るたくましい体と心を育む。	健康な生活リズムを育成する。	・「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発活動を通して、家庭での生活習慣の改善に取り組む。	・朝食に対する保護者の関心度	90%	保健安全部	76% (生活リズムアンケート)	79.0%	87%	2	保護者意識は高学年の保護者対象に行なったアンケートでも73%の家庭が栄養のバランスを意識して食事の準備をしている。2月のアンケートでは子供でも短時間でバランスが取れる料理を考えたことで身近に感じることができたのではないかと考えた。	1	4	0	・朝食に対する保護者の関心度を高めるための保護者啓発として、食育の授業を参観日に実施することはよい。 ・児童に外遊びをさせるためにどのように取り組むかが大切である。家庭環境も関わってくるので体育授業の充実など粘り強く指導を続けてほしい。			
				運動することが好きな児童の育成と児童の体力を向上を図る。	・体力テストの分析から、課題のある運動への補強運動を実施する。	80%	保健安全部	50.0%	47.5%	-2.5%	2	6月の新体カテストの50m走で県平均・全国平均値を上回った児童の割合50%だった。2回目の測定を11月下旬に行なったが、47%の児童しか伸びていなかった。伸びの多い子供は外遊びをよしている、運動意欲が高い子供たちであった。寒い時期の測定だったこと、季節と目的意識を持たしていなかったのではないかと考え、今後は運動意欲を高める取り組みをしたい。	0	5	0	・目標値が高いため達成が難しかったのである。よく努力されているので、その効果が出るのを期待したい。			
信頼される学校	3	保護者や地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。	学校情報を公開し、学校の説明責任を果たす。	・学校だより、ホームページ、学年だより等を活用して、教育方針や活動の様子を伝え、理解や協力を求める。	・保護者の情報公開満足度	90%	学校評価委員会	93.4%	93.4%	104%	4	各教職員の丁寧な保護者連携や問題行動発生時の組織的な対応などが保護者からよい評価をいたいたいのだと思われる。引き続き説明責任が果たせるように取り組んでいきたい。	5	0	0	・保護者への組織的な対応がしっかりと出来ていることが、保護者からの高評価に繋がったと思う。 ・教職員の指導や対応のすばらしさが保護者にも伝わったのである。			
			保護者・地域との連携した「共育」の推進。	・保護者・地域との連携を密にして、特色ある教育活動の推進を図り、意識の向上を図る。	・保護者・地域の意識調査の肯定的評価。	90%	学校評価委員会	93.4%	96.2%	107%	4	区民祭など学年としての地域行事への参加や、郷GOサタデーなどの充実から学校と地域の良い関係が感じられことが高評価につながったと考える。	5	0	0	・児童は、地域(自治協議会や郷GOサタデー実行委員会、女性会など)と連携を取りながら学校生活が送れている。 ・区民祭や郷GOサタデーなどの参加について、先生方も大変だと思うが続けてほしい。			
		児童が楽しく安心感を持って過ごすことができる学校づくり	児童の学習・生活満足度の充実	・児童満足度の高い授業実践、自己肯定感が持てる学級づくりに努める。	・「学校は安心して生活できる」「学校が楽しいと思う」児童の肯定的評価。	95%	生徒指導部	92.8%	94.6%	99%	2	日々の教職員から児童への肯定的評価や児童の思いをしっかりと聞くこと、問題行動が発生した際には、職員が連携をしっかりと取ることで適切に対応できたこと等が、満足度約96%につながったと考える。	1	4	0				

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

評価 4…目標を上回って達成  
3…目標どおりに達成  
2…目標をやや下回って達成  
1…目標をかなり下回って達成